

津波避難ルールに関する地域モデルの 形成に向けての取り組み

照本 清峰¹

¹和歌山大学防災研究教育センター

E-mail: terumoto@center.wakayama-u.ac.jp

津波からの避難方法として、車両での避難を選択肢に加えておいたほうが、より効率的な地域がある。一方で多くの住民が車両避難を選択した場合には渋滞が起こる可能性もあり、そこでは、何らかの避難に関するルールを地域ごとに定めておくことも求められる。本研究では、上記の問題意識を鑑み、モデル地域において、避難方法、避難路と避難場所に関する総合的なルールを策定するとともに、それらを形成する仕組みを示すことを目的として実施している。対象地域は和歌山県みなべ町である。昨年度より、みなべ町において、連続ワークショップ及び実践的津波避難訓練が取り組まれている。訓練では、徒歩での避難とともに、車両、バイク、自転車を用いた避難も試行的に実施されている。発表では、これらの実施結果について示すとともに、今後の取り組みについて議論する。

キーワード：津波、避難ルール、実践的避難訓練、和歌山県みなべ町